# 保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | | |
|---|---|---|
| 品番 | DRY-SV45GS | |
| S/No. | | |
| お買い上げ日 | 年　月　日<br>お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。 | |
| 保証期間 | 対象部分 機器本体(消耗部品は除く)<br>お買い上げの日から1年 | |
| お客様 | お名前 | 様 |
| お客様 | ご住所 | 〒<br>TEL(　　) |
| 販売店 | 店名・住所 | 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。 |

無効

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やリモコン電池・ディスプレイ・microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

| 故障内容記入欄 |
|---|
| |

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1955-B

Yupiteru

カメラー体型ドライブレコーダー

# DRY-SV45GS

## 取扱説明書

12V車専用

安定してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.11、38)




このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、付属品のmicroSDカードに最大約72分の動画を常時録画します。

**⚠注 意**

・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源 OFF してからmicroSD カードを抜いて保管してください。
・電源 ON の状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後、液晶の画面が 3 秒以上消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。

## ●重要事項●

**必ず 1 ～ 2 週間に一度、本機で SD カードのフォーマットを行ってください。**

なぜ SD カードのフォーマットが必要なのか…

SD カードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（=不良セクタ）が発生します。
不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。
1~2 週間に一度 SD カードをフォーマット（☛ P.11、38）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

● 大切なデータはバックアップしましょう。
フォーマットを行うと、「SD カード内にある録画ファイル ( 保護したファイルを含む )」は全て削除されます。
必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。（☛ P.42）

● SD カードは消耗品です。
フォーマットしても SD カードエラー（☛P.50）が頻繁に表示される場合は、SD カードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

● SD カードの買換えは純正品をお勧めします。
どの SD カードにも本機との相性問題があります。市販品の SD カードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。
お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に SD カードをご注文ください。


### 確認とご注意
安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
もしも事故が起きたら・・・ …… 10
SD カードをフォーマットする …… 11

### 基礎知識
各部の名称と働き …… 12
1. 付属品 …… 13
2. 別売品 …… 13
3. 付属品・別売品の購入について …… 14
SD カードの取り外し / 装着 …… 14
1. SD カードを本体から取り外す …… 14
2. SD カードを本体へ装着する …… 15
動画記録モード …… 16
静止画記録モード …… 17
録画について …… 18
1. 常時録画 …… 19
2. イベント記録（G センサー記録とワンタッチ記録）…… 19
3. 上書きモードについて …… 20
メンテナンスについて …… 22
初期値について …… 23

### すぐに使う
本機の取り付け …… 24
1. 本機を取り付ける …… 25
2. 電源を接続する …… 26
電源 ON ～ OFF までの手順 …… 27
1. 電源 ON（録画を開始する）…… 27
2. 録画を停止する …… 28
3. SD カードをフォーマットする …… 28
4. 日付設定をする …… 28
5. 録画を再開する …… 30
6. ワンタッチ記録をする …… 30
7. 音声録音をすぐにオフ（オン）する …… 31
8. 電源 OFF（録画を停止する）…… 31

### カスタマイズして使う
録画設定メニューの表示方法 …… 32
1. 録画設定メニューを表示する …… 32
2. 録画を再開する …… 32
録画設定メニュー …… 33
静止画設定メニューの表示方法 …… 34
1. 静止画設定メニューを表示する …… 34
2. 撮影を再開する …… 34
静止画設定メニュー …… 35
共通の設定メニューの表示方法 …… 36
1. 共通の設定メニューを表示する …… 36
2. 録画を再開する …… 36
共通の設定メニュー …… 37
フォーマットする …… 38
1. 共通の設定メニューからフォーマットする 38
録画ファイルの保護について …… 40
1. 録画ファイルを保護する …… 40

### 再生する
録画ファイルの読み出しについて … 42
1. SD カードを直接パソコンと接続する …… 43
2. 本体を直接パソコンと接続する …… 44
再生モード …… 45
再生モードの表示・再生方法 …… 46
1. 再生モードを表示する …… 46
2. 本機で録画ファイルを再生する …… 46
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する …… 47
4. 再生メニューを表示する …… 48
5. 録画を再開する …… 48
再生メニュー …… 49

### その他
エラー表示一覧 …… 50
故障かな？と思ったら …… 51
リセットボタンについて …… 52
仕様 …… 53
microSD カード対応一覧表 …… 54
1. 録画時間の目安 …… 54
2. イベント記録の最大記録時間の目安 …… 54
アフターサービス …… 55
保証書 …… 裏表紙

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

⚠警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

## 絵表示について

- 必ず実行していただく「強制」内容です。
- してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

## ● 安全上お守りいただきたいこと

### ⚠ 警 告

**異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

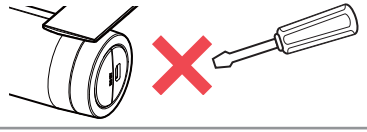
＜異常な状態の例＞

- 内部に異物が入った
- 水に浸かった
- 煙が出ている
- 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
☛P.55「アフターサービス」

**サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



**本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

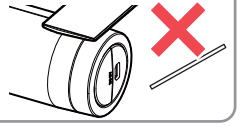
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- 湿気やほこり、油煙の多い所
- ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

**本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

**穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⚠ **SD カードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。





**心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

**持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

**本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**

車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

**病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

**本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

### ⚠ 注 意

**濡れた手で操作しないでください。**

感電の原因となります。



**落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

**結露したまま使い続けないでください。**

故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

**各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

**本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

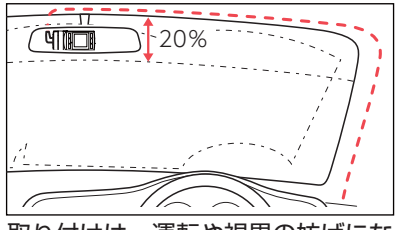
⚠ **本機は精密機械です。**

静電気 / 電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

## ● 取り付けについて

### ⚠ 警 告

**取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。**

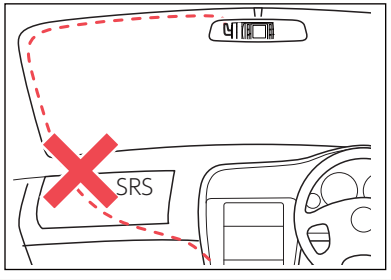



**取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

**エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



## ⚠ 注 意

**取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

**突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

## ● 電源コードについて

## ⚠ 警 告

**電源コードは確実に差し込んでください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。

**シガーライターソケットは単独で使ってください。**
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

**お手入れの際は、電源コードを抜いてください。**
感電の原因となります。

**指定以外のヒューズは使用しないでください。**
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。


交換ヒューズ 2A
(20mm×5.2mm)

**シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。

**指定された電源電圧車以外では使用しないでください。**
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

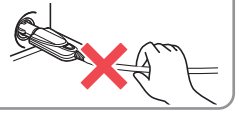
**コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。**
故障や感電の原因となります。



## ⚠ 注 意

**エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。**

**シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



## ● SDカードについて

## ⚠ 警 告

**SD カードの出し入れは、本機の電源が ON になっていないことを確認して行ってください。**




**SD カードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。**
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。



## ● 本機の操作・運転について

## ⚠ 警 告

**走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。**
このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

**ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。**

**急発進したり急ブレーキをかけないでください。**
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

**運転者は走行中に操作しないでください。**
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

**海外ではご使用にならないでください。**
本機は日本国内仕様です。

## ● 本機のお手入れについて

## ⚠ 注 意

**カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。**
乾いた布などでふくとキズの原因となります。

**ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。**
塗装面を傷めます。




**本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

# 使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

## ■ シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
・シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。
・一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

## ■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

## ■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

## ■ SD カードに関する注意

・SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
・SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1 ～ 2 週間に一度、本機でフォーマットを行うことをお勧めします。
・SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
・SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
・SD カードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
・SD カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。



## ■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は高速点滅しているので、点滅して撮影される場合があります。
・LED式信号機対策を行っているため、完全消灯状態で撮影されることはありません。
・色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
・運転者は走行中に録画中アイコン等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。
・真夏などの炎天下の中で使用する場合、本機が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
・本機を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が鮮明に記録されない場合があります。

## ■ 液晶パネル部に関する注意

・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

## ■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

## ■ 保証に関する注意

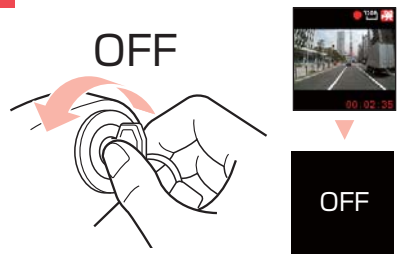
・本製品にはお買い上げから 1 年間の保証がついています。(ただし、リモコンやシガープラグコード、microSD カードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

# もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

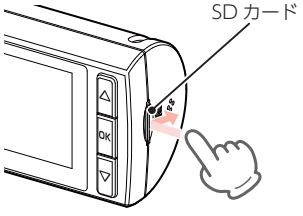
## SDカードの保管

### 1 本機を電源OFFする




エンジンキーをOFFにし、本機を電源OFFします。
電源OFF後、液晶の画面が3秒以上消灯したことを確認します。

### 2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く




※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

### 3 SDカードを保管する

・保管場所について…
SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉　〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉　〈腐食性ガス〉

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

**バックアップ機能について**
重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

**こんなときに録画ファイルが役立ちます**

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。



・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。



# SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、本機でSDカードをフォーマットしてください。
定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。
SDボタンを使うフォーマット方法です。SDボタンを押すとすぐにフォーマットを開始する画面が表示されます。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。（☛P.42「録画ファイルの読み出しについて」）

## SDカードフォーマットの手順

### 1 本機を電源ONする

エンジンキーをONにし、本機を電源ONします。
録画を開始すると録画中アイコンが点滅します。

### 2 OKボタンを押す







録画停止中

録画を停止すると、録画中アイコンが消えます。

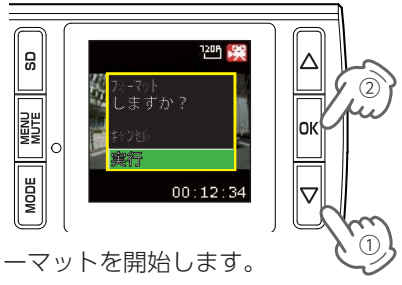
・共通の設定メニューからフォーマットする場合は ☛P.38を参照ください。

### 3 SDボタンを押す




フォーマットの確認画面を表示します。

### 4 実行を選択し、OKボタンを押す




フォーマットを開始します。

### 5 OKボタンを押す

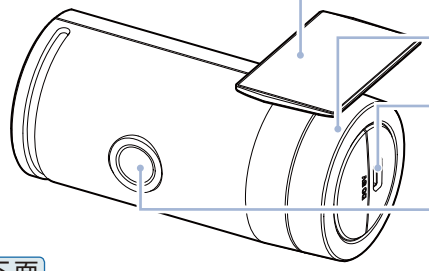



録画を再開します。

# 各部の名称と働き

■ 本体

正面



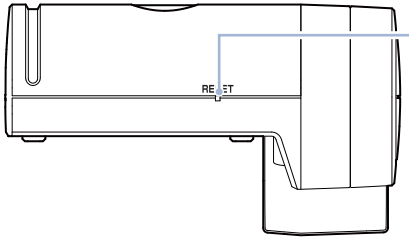
ブラケット

ナット

**miniUSB 端子**
付属品のシガープラグコードを接続します。
(☛P.26)

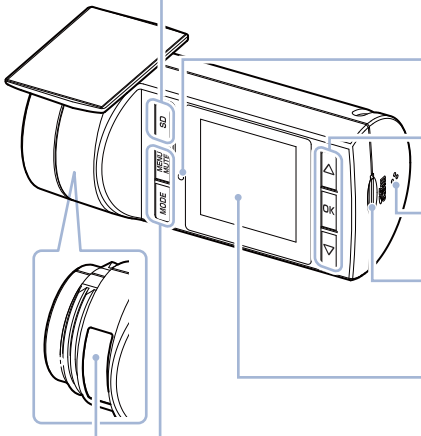
**レンズ**
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。
ご使用時にはがしてください。

下面




**RESET( リセット ) ボタン**
本体をリセットし、システムを再起動します。
(☛P.52)

背面




**SD ボタン**
SD カードをフォーマットします。(☛P.11)

**マイク**
周囲の音を収集します。

**操作ボタン**
設定項目の選択や決定などを行います。

**スピーカー**
録画ファイルの音声が出ます。

**microSD カード挿入口**
付属品の microSD カードを挿入します。
(☛P.14)

**フルカラー TFT 液晶ディスプレイ 1.41 インチ**
各設定画面を表示したり、録画中の映像や再生時の映像を確認できます。

**MENU/MUTE、MODE ボタン ( 記録ボタン )**
動作モードの変更やメニューを表示します。
常時録画中に MODE ボタンを押すと、ワンタッチ記録を行います。(☛P.30)

**シリアルナンバー**
製造番号が印刷されています。



## 1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット …… 1

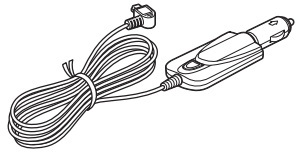
■ ナット …… 1

■ 両面テープ …… 1

■ microSD カード(8GB) …… 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) …… 1

■ 5V コンバーター付シガープラグコード(約 4 m) …… 1

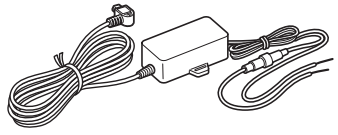


・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

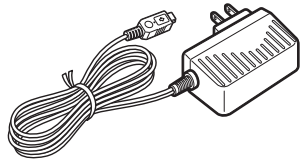
## 2. 別売品

■ 5V コンバーター付電源直結コード
OP-E755　本体 2,000 円 + 税
シガーライターソケットを使わずに、車内のアクセサリー系端子から直接電源をとることができます。



■ 電源監視機能付電源直結ユニット(※1)
OP-VMU01　本体 6,000 円 + 税
車両バッテリーに繋げて駐車記録を行うオフタイマー設定・車両バッテリー電圧機能付きの電源ユニットです。
本体…… 1
入力コード…… 1
両面テープ…… 1

■ A C アダプター　OP-E368
本体 3,000 円 + 税
ご家庭で使用することができます。



■ マルチバッテリー　OP-MB4000(※1)
本体 23,000 円 + 税
エンジンを OFF にすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。( 最大約 12 時間 )
本体…… 1
入力コード…… 1
出力コード…… 1
面ファスナー…… 1

※1:本体に接続する場合、別売品 5V コンバーター付電源直結コード (OP-E755) が必要になります。

## 3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「ＸＸ（機種名）用　○○（必要な部品）」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

# SD カードの取り外し / 装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記しています。

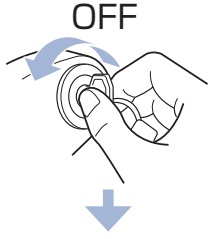
※本機と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、8GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。（SD スピードクラス「Class6」以上）

**⚠注 意**

・電源 OFF 後、液晶の画面が 3 秒以上消灯してから行ってください。
・SD カードは一方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
・付属品以外の SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

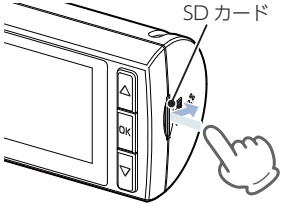
## 1. SD カードを本体から取り外す

### 1-1 車両のエンジンを切る




電源 OFF 後、液晶の画面が 3 秒以上消灯したことを確認してください。

### 1-2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

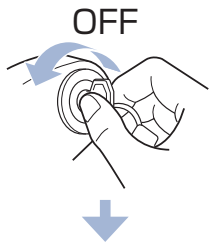



※SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SD カードは小さいため、車室内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。



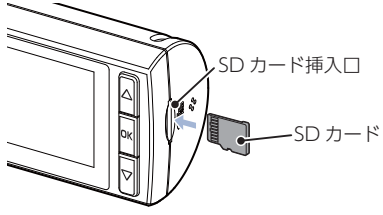
## 2. SD カードを本体へ装着する

### 2-1 車両のエンジンを切る




電源 OFF 後、液晶の画面が 3 秒以上消灯したことを確認してください。

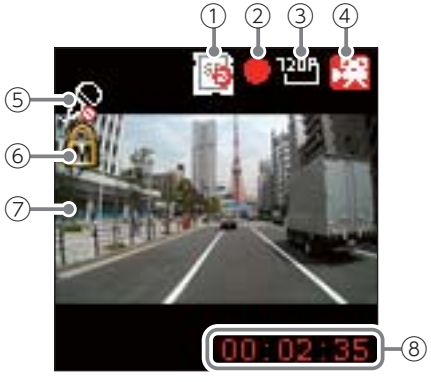
### 2-2 SD カードを挿入する




SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

## 動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。




＜動画記録モード＞

| No. | 表示名 | 説　明 |
|---|---|---|
| ① | SD カードエラー | SD カードのエラーや未挿入時に表示します。( ☛ P.50) |
| ② | 録画中アイコン | 動画記録中に点滅表示します。 |
| ③ | 解像度アイコン | 記録解像度を表示します。( ☛ P.33) |
| ④ | モードアイコン | 動画記録モードアイコンを表示します。 |
| ⑤ | ミュートアイコン | 「音声録音」がオフのときに表示します。( ☛ P.31) |
| ⑥ | ファイルアイコン | Gセンサー記録、ワンタッチ記録時に表示します。( ☛ P.19) |
| ⑦ | ファインダー | 撮影中の映像を表示します。 |
| ⑧ | 記録時間 | 記録時に現在の映像の記録時間を表示します。<br>記録停止時には、録画可能時間を表示します。 |

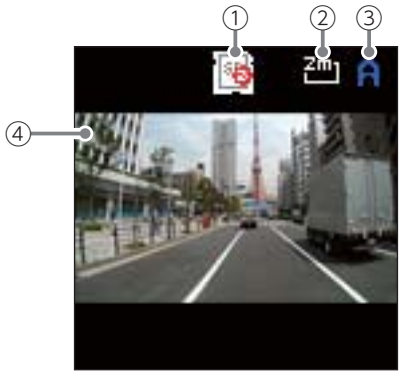
■ 動画記録モード時のボタンの機能

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| MENU/MUTE | 録画停止中は、録画設定メニューへ。(☛P.33)<br>もう一度押すと、共通の設定メニューへ。(☛P.37) |
| MODE | 録画中に押すとワンタッチ記録します。(☛P.30)<br>録画停止中に押すと、動作モードを変更します。 |
| OK | 録画の開始、または停止をします。 |



## 静止画記録モード

静止画記録モードでは、静止画を撮影できます。




＜静止画記録モード＞

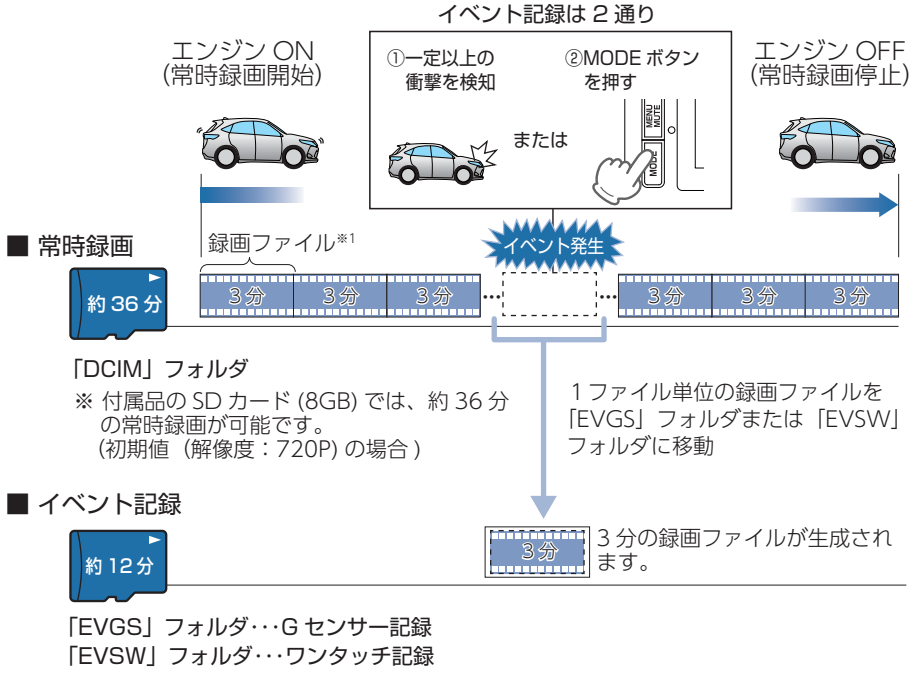
| No. | 表示名 | 説　明 |
|---|---|---|
| ① | SD カードエラー | SD カードのエラーや未挿入時に表示します。( ☛ P.50) |
| ② | 解像度アイコン | 撮影解像度を表示します。( ☛ P.35) |
| ③ | モードアイコン | 静止画記録モードアイコンを表示します。 |
| ④ | ファインダー | 被写体を表示します。 |

■ 静止画記録モード時のボタンの機能

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| MENU/MUTE | 静止画設定メニューへ。(☛P.35)<br>もう一度押すと、共通の設定メニューへ。(☛P.37) |
| MODE | 動作モードを変更します。 |
| OK | 静止画を撮影します。 |

# 録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。




※ 1：録画ファイル構成は設定によって異なります。初期値は「3 分」です。

・お買い上げ時の設定では、SD カード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれの保護していない古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。( ☛ P.20「上書きモードについて」
・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
・エラーメッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。( ☛ P.50「エラー表示一覧」)





## 1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を SD カードに常時録画します。

・**録画ファイル構成**
初期値 (ファイル構成：3 分) で、1 ファイルあたり約 3 分で生成します。
・**録画可能時間**
初期値（解像度：720P) で、付属品の SD カード（8GB）に約 36 分の常時録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。( ☛ P.54「録画時間の目安」)
・**上書きモード**
初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、36 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。( ☛ P.20「上書きモードについて」)

## 2. イベント記録 (G センサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には、G センサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、画面にファイルアイコンを表示します。

・**録画ファイル構成**
初期値 (ファイル構成：3 分) で、1 ファイルあたり約 3 分で生成します。
・**最大記録時間**
初期値 (解像度：720P) で、付属品の SD カード (8GB) に G センサー記録とワンタッチ記録はそれぞれ約 12 分の録画が可能です。SD カードの容量によって最大記録時間は異なります。( ☛ P.54「イベント記録の最大記録時間の目安」)
・**上書きモード**
初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、12 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。( ☛ P.20「上書きモードについて」)

### ■ G センサー記録

G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、1 ファイル単位の映像を SD カードの「EVGS」フォルダに移動します。

※初期値では「G センサー記録：オン」となります。設定で「オフ」にすることもできます。( ☛ P.33「録画設定メニュー」)

・**G センサー感度**
G センサーの感度を設定することができます。初期値では、X( 前後方向 )、Y( 左右方向 )、Z( 上下方向 ) の数値は全て「1.0G」となります。( ☛ P.33「録画設定メニュー」)



・事故発生時の衝撃が弱い場合、G センサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に MODE ボタンを押すと、1 ファイル単位の映像を SD カードの「EVSW」フォルダに移動します。




⚠注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

## 3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.33「録画設定メニュー」)

| 上書きモード | | 上限に達した場合の動作 | |
|---|---|---|---|
| | | 常時録画 | ワンタッチ記録 |
| 上書き禁止 | 全ての録画ファイルは上書きされません。 | 録画の停止 | 録画の停止 |
| 常時録画上書※1 | 保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。 | 上書きして録画を継続 | 録画の停止 |
| 全て上書き※1 (初期値) | 保護していない録画ファイルを上書きします。 | 上書きして録画を継続 | 上書きして録画を継続 |

※1：保護したファイル ( ☛ P.40「録画ファイルを保護する」)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「再生メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、SD カードをフォーマットしてください。( ☛ P.11、38)

### ■上書き禁止

常時録画、イベント記録、静止画がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での記録を停止します。

例①：イベント記録が SD カード容量の上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画が SD カード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録も SD カード容量にかかわりなく記録を停止します。
※イベント記録は、常時録画を移動した録画ファイルです。





常時録画 約 36 分以上※

※ 時間は SD カードの容量と解像度により異なります。




赤色で「画像がいっぱいです」と表示されます。

警告表示と ※2 ブザー音

イベント記録 約 12 分以上※

※ 時間は SD カードの容量と解像度により異なります。




黄色で「画像がいっぱいです」と表示されます。

警告表示と ※2 ブザー音

※2：音量を「0」に設定している場合は、ブザー音は鳴りません。OK ボタンを押すと警告表示とブザー音は消えます。

### ■常時録画上書※1

常時録画は、SD カード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録や静止画は、最大記録時間に達した時点で、記録を停止します。

イベント記録 約 12 分以上※

警告表示と ※2 ブザー音




黄色で「画像がいっぱいです」と表示されます。

※時間は SD カードの容量と解像度により異なります。

※2：音量を「0」に設定している場合は、ブザー音は鳴りません。OK ボタンを押すと警告表示とブザー音は消えます。

### ■全て上書き(初期値)※1

常時録画、イベント記録、静止画がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※1：保護したファイル ( ☛ P.40「録画ファイルを保護する」)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「再生メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、SD カードをフォーマットしてください。( ☛ P.11、38)

・各記録方法のファイル容量の目安
SD カードの全容量の約 60%が常時録画に振り分けられます。
SD カードの全容量の約 20%が G センサー記録に振り分けられます。
SD カードの全容量の約 20%がワンタッチ記録に振り分けられます。

## メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行ってください。

■ 1 ～ 2 週間に一度のメンテナンス

⚠注 意

必ず、1 ～ 2 週間に一度、本機で SD カードのフォーマットを行ってください。

・SD カードのフォーマット

SD カードは、長期間使用することにより、不良セクタが発生します。不良セクタには書き込みをすることができず、SD カードへの書き込みが不安定になる場合があります。必ず、1 ～ 2 週間に一度、本機でフォーマットを行ってください。( ☛ P.11、38)

■ 必要に応じてメンテナンス

・ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない (シガープラグコードのランプが点灯しない) 場合は、シガープラグコードのヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

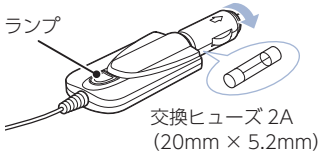
① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。

② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。

③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す

ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める






## 初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

| 設定項目 | 初期値 | 説　明 |
|---|---|---|
| 解像度 | 720P (1280 × 720) | 動画を 1280 × 720 で記録します。 |
| | 2M (1872 × 1056) (静止画設定) | 静止画を 1872 × 1056 で記録します。 |
| 日時スタンプ | オン | 記録映像に、日付や時刻を記録します。 |
| ファイル構成 | 3 分 | 録画ファイルの 1 ファイルを 3 分で生成します。 |
| 音声録音 | オン | 映像と同時に音声も記録します。 |
| 上書きモード | 全て上書き | それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の保護していない古いファイルから自動削除して上書きされます。 |
| 画像サイズ | 2M (1872 × 1056) | 静止画を 1872 × 1056 で記録します。 |
| G センサー設定 | オン | G センサー記録を行います。( ☛ P.19 「G センサー記録」) |
| G センサー感度 (X) | 1.0G | X (前後方向) の衝撃感度を 1.0G に設定しています。 |
| G センサー感度 (Y) | 1.0G | Y (左右方向) の衝撃感度を 1.0G に設定しています。 |
| G センサー感度 (Z) | 1.0G | Z (上下方向) の衝撃感度を 1.0G に設定しています。 |
| 音量 ( 再生 ) | 5 | 録画ファイルの再生音量を 5 に設定しています。 |
| 表示言語 ( 共通の設定 ) | 日本語 | メニュー表示の言語を日本語で設定しています。 |
| 画面自動オフ ( 共通の設定 ) | オフ | 画面は常に ON の状態です。 |
| フリッカレス ( 共通の設定 ) | 60Hz | 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。 |
| USB ( 共通の設定 ) | ストレージ | パソコン接続時、外部ストレージとして本機内のファイルを操作をすることができます。 |

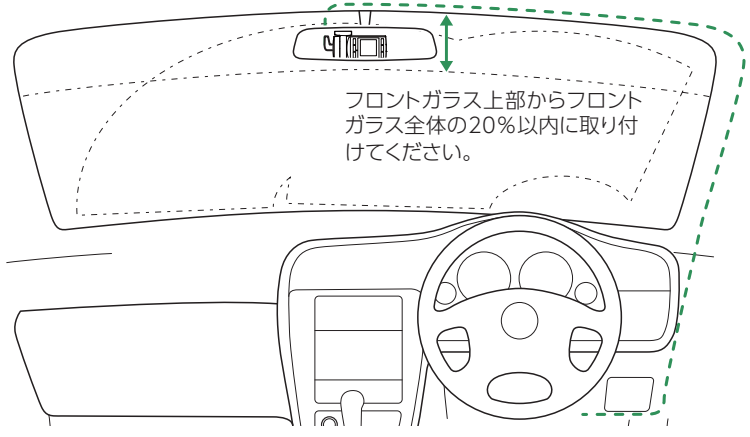
※初期値を変更する場合は、☛ P.32 ～ 41「カスタマイズして使う」、☛ P.49 「再生メニュー」を参照ください。

# 本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

## 取り付けの注意

・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
・視界の妨げにならないように取り付けてください。
・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
・フロントウィンドウ縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



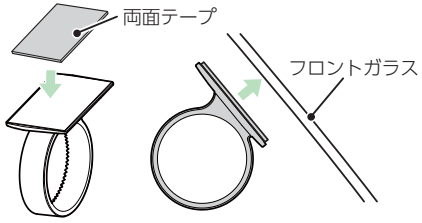




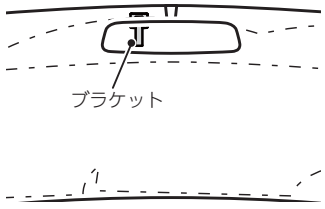

## 1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

### 1-1 ブラケットに付属品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける




例：ルームミラー中央部の場合



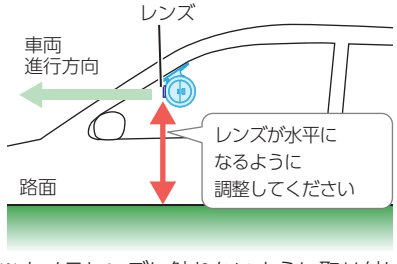

ブラケットに本体を装着したときに、シガープラグコードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

※固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
※貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

**■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。**

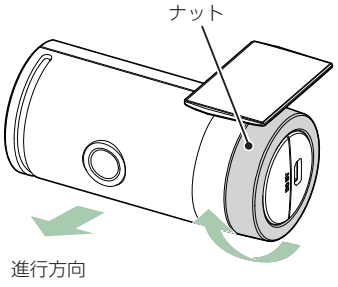
・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
・固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

### 1-2 ブラケットに本体を装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



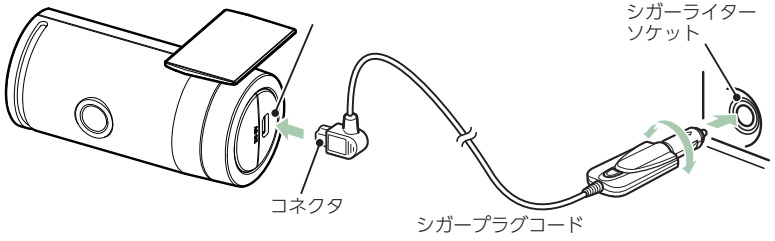

※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

### 1-3 ナットを締めて固定する




## 2. 電源を接続する

### 2-1 シガープラグコードを接続する




付属品のシガープラグコードを本体の miniUSB 端子と車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※付属品のシガープラグコード、または別売品の AC アダプター（☛ P.13「別売品」）をご使用ください。
※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。
誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。
うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。





## 電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

エンジン ON

録画の開始 1 ▶ 録画の停止 2 ▶ フォーマット※ 3 ▶ 日付設定 4

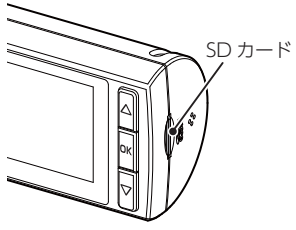
録画の再開 5 ▶ ワンタッチ記録 6 ▶ 音声録音 7 ▶ 録画の停止 8 エンジン OFF

※付属品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
本機でフォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

## 1. 電源 ON（録画を開始する）

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

### 1-1 SD カードが挿入されていることを確認する




・SD カードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、液晶の画面が 3 秒以上消灯したことを確認し、SD カードを挿入してください。
☛ P.14「SD カードの取り外し / 装着」

### 1-2 車両のエンジンを始動する




録画中アイコンが点滅し、録画を開始します。

## 2. 録画を停止する

### 2-1 OK ボタンを押す




録画を停止します。

※録画停止中は、録画中アイコンの表示が消えます。

## 3. SD カードをフォーマットする

必ず、1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。

フォーマット方法は、(☛ P.11「SD カードをフォーマットする」) を参照し、手順の 3、4 番を行ってください。

※付属品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※共通の設定からフォーマットする方法もあります。(☛ P.38「フォーマットする」)

フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

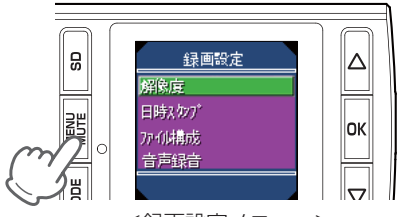
・**録画ファイルのバックアップ…** ☛ P.42「録画ファイルの読み出しについて」

## 4. 日付設定をする

「日付設定」を選択して、現在の日時を設定してください。

※時刻はずれることがあります。時差が生じ始めたら、再度設定を行ってください。

### 4-1 MENU/MUTE ボタンを押す




<録画設定メニュー>

・**録画中は録画設定メニューの表示ができません。**
☛「録画を停止する」

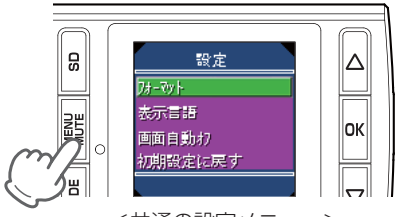
録画設定メニューを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「共通の設定メニュー」に変更します。





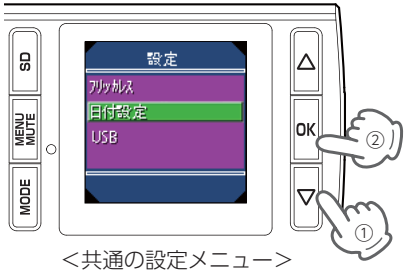
### 4-2 MENU/MUTE ボタンを押して、共通の設定メニューを表示する




<共通の設定メニュー>

・**共通の設定メニューの詳細は…**
☛ P.37「共通の設定メニュー」

### 4-3 ▼ ボタンを押して、「日付設定」を選択し、OK ボタンを押す




<共通の設定メニュー>

### 4-4 年月日と時分を設定する




<日付設定画面>

・**日付設定画面のボタンの機能**

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| ▲ | 値が増加します。 |
| ▼ | 値が減少します。 |
| OK | 次の項目へ移ります。 |
| MENU /MUTE | 前の画面に戻ります。 |

選択中の項目に △▽ マークを表示します。

「分」で OK ボタンを押すと、共通の設定メニューに戻ります。

## 5. 録画を再開する

### 5-1 MENU/MUTE ボタンを押す




動画記録モードを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「 共通の設定メニュー」に変更します。

### 5-2 OK ボタンを押す




録画中アイコンが点滅し、録画を開始します。

## 6. ワンタッチ記録をする

本機は、常時録画中に MODE ボタンを押すと、ワンタッチ記録ファイルを生成します。

### 6-1 MODE ボタンを押す




・ワンタッチ記録の詳細は…
☛ P.19「イベント記録（G センサー記録とワンタッチ記録）」

ファイルアイコンが点灯し、ワンタッチ記録ファイルを生成します。
ワンタッチ記録生成後は、自動で常時録画に戻ります。

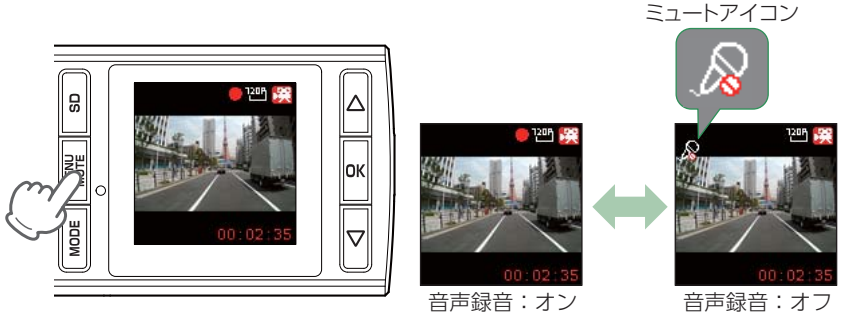


## 7. 音声録音をすぐにオフ（オン）する

録画中に MENU/MUTE ボタンを押すと、音声録音のオン / オフを変更することができます。

※録画設定メニューからも、音声録音のオン / オフを変更することができます。（☛ P.33）

### 7-1 MENU/MUTE ボタンを押す




音声録音が変更されます。

## 8. 電源 OFF（録画を停止する）

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

### 8-1 車両のエンジンを切る

録画が停止し、電源 OFF になります。

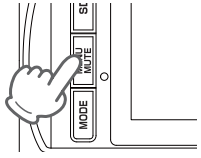
## 録画設定メニューの表示方法

### 1. 録画設定メニューを表示する

**1-1** 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※録画中は、設定メニューの表示ができません。

**1-2** MENU/MUTE ボタンを押す




・録画設定メニューの詳細は …
☛ P.33「録画設定メニュー」

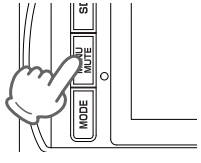
録画設定メニューを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「 共通の設定メニュー」に変更します。

### 2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

**2-1** MENU/MUTE ボタンを押す






<動画記録モード>

動画記録モードを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「共通の設定メニュー」に変更します。

**2-2** OK ボタンを押す




録画中アイコンが点滅し、録画を開始します。

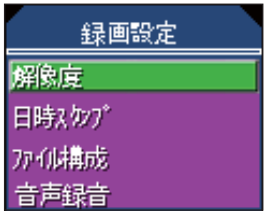


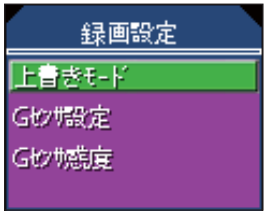


## 録画設定メニュー

動画記録モードの設定を確認または変更します。

※録画設定メニューの表示方法は、☛ P.32 を参照ください。







★は初期値です。

| 項　目 | 設　定 | 説　明 |
|---|---|---|
| 解像度 | 720P (1280 × 720) (★) | 動画記録の解像度を選択します。<br>※録画可能時間は、☛ P.54 を参照ください。 |
| | VGA (640 × 480) | |
| 日時スタンプ | オフ | 記録映像に、日付や時刻を記録します。 |
| | オン (★) | |
| ファイル構成 | 1 分 | 録画ファイルの 1 ファイルの記録時間を設定します。 |
| | 3 分 (★) | |
| | 5 分 | |
| | 10 分 | |
| 音声録音 | オフ | 映像と同時に、音声も記録するか設定します。 |
| | オン (★) | |
| 上書きモード | 上書き禁止 | それぞれの録画方法で SD カード容量の上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。 |
| | 常時録画上書 ※1 | それぞれの録画方法で SD カード容量の上限に達した場合、録画ファイルは常時録画ファイルのみ古いファイルから自動削除して上書きされます。 |
| | 全て上書き (★) ※1 | それぞれの録画方法で SD カード容量の上限に達した場合、それぞれの記録方法の古いファイルから自動削除して上書きされます。 |
| G センサ設定 | オフ | G センサー記録を使用するかオン / オフで設定します。 |
| | オン (★) | |
| G センサ感度 | X：0.5~5.0G (1.0G ★) | X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の衝撃感度を 0.1G ステップで個別に設定します。<br>感度は、数字が小さくなると、「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。 |
| | Y：0.5~5.0G (1.0G ★) | |
| | Z：0.5~5.0G (1.0G ★) | |

※1：保護したファイル (☛ P.40「録画ファイルの保護について」) は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.11、38)

■ 録画設定メニュー時のボタンの機能

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| ▲ | 項目や設定値を選択します。 |
| ▼ | 項目や設定値を選択します。 |
| OK | 項目や設定値を決定します。 |
| MENU/MUTE | 共通の設定メニューまたは、動画記録モード画面へ戻ります。 |

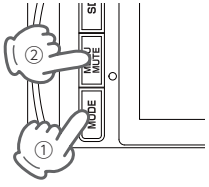
## 静止画設定メニューの表示方法

### 1. 静止画設定メニューを表示する

**1-1** 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※録画中は、設定メニューの表示ができません。

**1-2** MODE ボタンを押して静止画記録モードにし、MENU/MUTE ボタンを押す




・静止画設定メニューの詳細は…
☛ P.35「静止画設定メニュー」

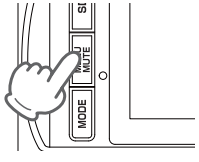
静止画設定メニューを表示します。

※MODE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「静止画記録モード」→「再生モード」にモード変更します。

### 2. 撮影を再開する

設定完了後は、下記の手順で撮影を再開します。

**2-1** MENU/MUTE ボタンを押す






<静止画記録モード>

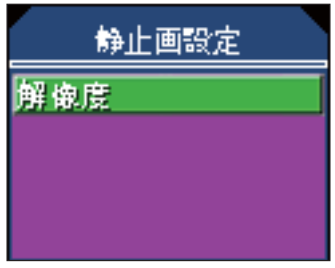
静止画記録モードを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「静止画記録モード」→「静止画設定メニュー」→「 共通の設定メニュー」に変更します。

## 静止画設定メニュー

静止画記録モードの設定を確認または変更します。

※静止画設定メニューの表示方法は ☛ P.34 を参照ください。




★は初期値です。

| 項　目 | 設　定 | 説　明 |
|---|---|---|
| 解像度 | 3M(2240 × 1344) | 撮影する静止画の解像度を選択します。 |
| | 2M(1872 × 1056) (★) | |
| | 1.3M(1536 × 864) | |
| | VGA(640 × 480) | |

■ 静止画設定メニュー時のボタンの機能

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| ▲ | 項目や設定値を選択します。 |
| ▼ | 項目や設定値を選択します。 |
| OK | 項目や設定値を決定します。 |
| MENU/MUTE | 共通の設定メニューまたは、静止画記録モード画面へ戻ります。 |

## 共通の設定メニューの表示方法

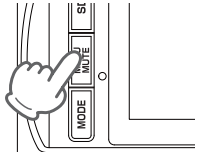
共通の設定メニューは、「動画記録モード」「静止画記録モード」「再生モード」のどのモードからでも表示させることができます。

### 1. 共通の設定メニューを表示する

**1-1** 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※録画中は、設定メニューの表示ができません。

**1-2** MENU/MUTE ボタンを押す




・共通の設定メニューの詳細は…
☛ P.37「共通の設定メニュー」

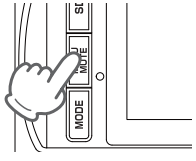
共通の設定メニューを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「共通の設定メニュー」に変更します。

### 2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

**2-1** MENU/MUTE ボタンを押す






<動画記録モード>

動画記録モードを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「共通の設定メニュー」に変更します。

**2-2** OK ボタンを押す




録画中アイコンが点滅し、録画を開始します。

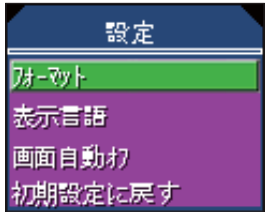


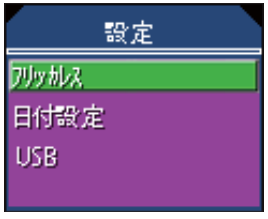


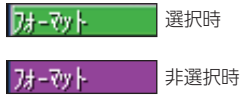
## 共通の設定メニュー

全モード共通の設定を確認または変更します。

※共通の設定メニューの表示方法は ☛ P.36 を参照ください。




★は初期値です。

| 項　目 | 設　定 | 説　明 |
|---|---|---|
| フォーマット | キャンセル | SD カードのフォーマットを行います。 |
| | 実行 | |
| 表示言語 | English | メニュー表示の言語を選択します。 |
| | 日本語(★) | |
| 画面自動オフ | オフ(★) | 録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的に OFF します。<br>※画面 OFF 状態のとき、ボタン操作を行うと、画面 ON になります。 |
| | 1 分 | |
| | 3 分 | |
| 初期設定に戻す | キャンセル | 本機の全ての設定を初期値に戻します。 |
| | 実行 | |
| フリッカレス | 50Hz | 使用している地域の商用周波数に合わせてください。<br>東日本：50Hz<br>西日本：60Hz<br>記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。 |
| | 60Hz(★) | |
| 日付設定 | − | 日時を設定します。(☛ P.28) |
| USB | PC カメラ ※1 | USB 接続時の本機の動作モードを設定します。<br>PC カメラ時は、Web カメラとして動作します。<br>ストレージ時は、パソコン接続時に外部ストレージとして本機内のファイルを操作することができます。 |
| | ストレージ(★) | |

※ 1：PC カメラとしては、Microsoft Windows 7、8 または 10 以上で動作します。

### ■ 共通の設定メニュー時のボタンの機能

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| ▲ | 項目や設定値を選択します。 |
| ▼ | 項目や設定値を選択します。 |
| OK | 項目や設定値を決定します。 |
| MENU/MUTE | 現在のモード画面へ戻ります。 |

# フォーマットする

必ず１～２週間に一度、本機でフォーマットを行ってください。

※付属品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
※フォーマットは、SD ボタンを使う方法もあります。（☛ P.11「SD カードをフォーマットする」）

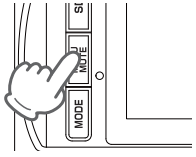
フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
・録画ファイルのバックアップ… ☛ P.42「録画ファイルの読み出しについて」

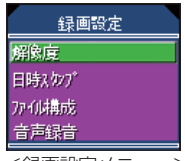
## 1. 共通の設定メニューからフォーマットする

### 1-1 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押して録画を停止する。

※録画中は、設定メニューの表示ができません。

### 1-2 MENU/MUTE ボタンを押す



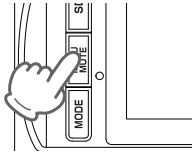



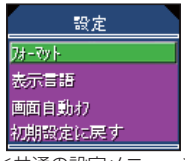
＜録画設定メニュー＞

録画設定メニューを表示します。

※MENU/MUTE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「録画設定メニュー」→「 共通の設定メニュー」に変更します。

### 1-3 MENU/MUTE ボタンを押す

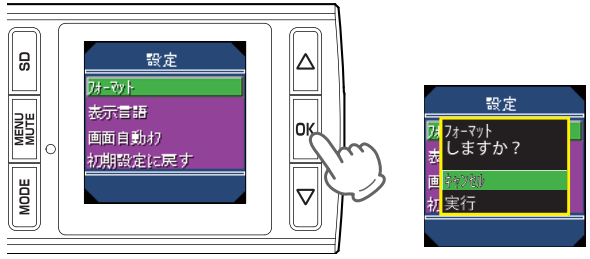


＜共通の設定メニュー＞

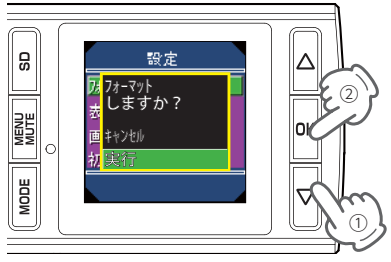
共通の設定メニューを表示します。

### 1-4 「フォーマット」を選択し、OK ボタンを押す




「フォーマットしますか？」と表示されます。

### 1-5 ▼ ボタンを押して、「実行」を選択し、OK ボタンを押す




フォーマットが完了すると、設定メニューに戻ります。

## 録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。
保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※保護した録画ファイルは、フォーマット（☛ P.11、38）することで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップ（☛ P.42「録画ファイルの読み出しについて」）などしてからフォーマットしてください。

**⚠注 意**

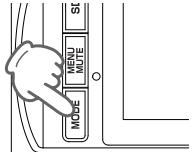
初期値では、保護していない古い常時録画ファイルは、常時録画の上限に達すると、上書きされます。（初期値「上書きモード：全て上書き」）

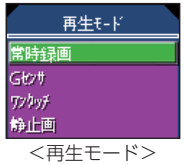
### 1. 録画ファイルを保護する

**1-1** 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押して録画を停止する。

※録画中は、再生モードの表示ができません。

**1-2** MODE ボタンを押す



＜再生モード＞

再生モードを表示します。

※MODE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「静止画記録モード」→「再生モード」にモード変更します。

**1-3** ▲▼ ボタンを押して、保護したい録画ファイルの記録方法を選択し、OK ボタンを押す



＜再生モード＞

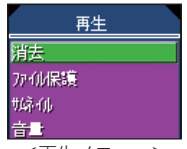
・常時録画とは …… ☛ P.19
・Gセンサとは …… ☛ P.19
・ワンタッチとは …… ☛ P.19
・静止画とは …… ☛ P.17





**1-4** ▲▼ ボタンを押して、保護したい録画ファイルを選択し、MENU/MUTE ボタンを押す

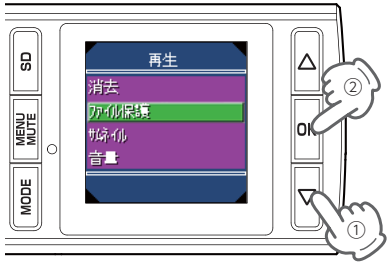


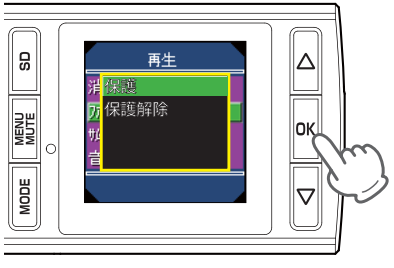
＜再生メニュー＞

再生メニューを表示します。

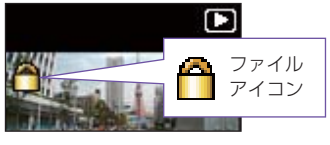
**1-5** ▼ ボタンを押して、「ファイル保護」を選択し、OK ボタンを押す




**1-6** 「保護」を選択し、OK ボタンを押す




・保護したファイルは、各ファイル選択画面の画面左上に 🔒 アイコンを表示します。




保護が完了すると、再生メニューに戻ります。

保護を解除する場合は、手順 1-6 で「保護解除」を選択し、OK ボタンを押してください。
保護を解除すると、画面上の 🔒 アイコンの表示が消えます。

## 録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した画像や映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS：Microsoft Windows 7、8 または 10
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ：2GB 以上

※対応 OS や動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

### ■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 MOVI 0001 . avi
- MOVI：動画 ( 静止画の場合は「JPG」) となります。
- 0001：ファイル番号
  ※ファイル種類に関わらず通し番号になります。
- avi：ファイル種類
  - MOVI (常時録画)
  - EVGS (G センサー記録)
  - EVSW (ワンタッチ記録)
  - PICT (静止画)

### ■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

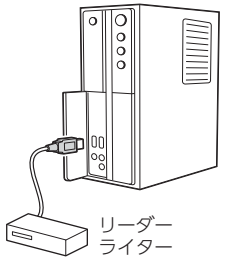
- SD カード
  - DCIM
    - MOVIxxxx.avi
    - ⋮
    - MOVIxxxx.avi
  - EVGS
    - EVGSxxxx.avi
    - ⋮
    - EVGSxxxx.avi
  - EVSW
    - EVSWxxxx.avi
    - ⋮
    - EVSWxxxx.avi
  - PICT
    - PICTxxxx.jpg
    - ⋮
    - PICTxxxx.jpg





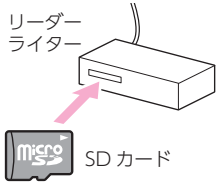
## 1. SD カードを直接パソコンと接続する

### 1-1 リーダーライターをパソコンに接続する



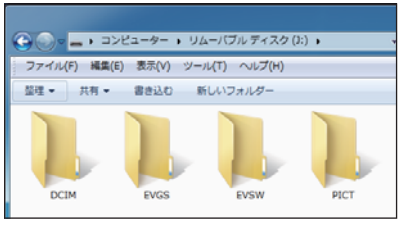

※SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

### 1-2 SD カードをリーダーライターに接続する




※ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

### 1-3 SD カードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く




- **常時録画…**
  「DCIM」フォルダを開いてください。
- **G センサー記録…**
  「EVGS」フォルダを開いてください。
- **ワンタッチ記録…**
  「EVSW」フォルダを開いてください。
- **静止画…**
  「PICT」フォルダを開いてください。

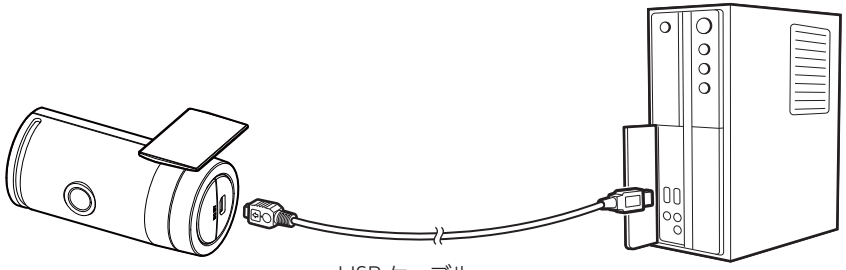
### 1-4 録画ファイルをダブルクリックする




Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

## 2. 本体を直接パソコンと接続する

※USB 設定が「ストレージ」になっていることを確認してください。(☛ P.37)
※USB 設定が「PC カメラ」になっている場合は、Web カメラとして動作します。(☛ P.37)
※本体とパソコンを、直接 USB ケーブルで接続してください。
※USB ケーブルは、1m 未満の A コネクター(オス)/ ミニ B コネクター(オス)をご使用ください。
※接続後は、「SD カードを直接パソコンと接続する」(☛ P.43)と同じ操作になります。



USB ケーブル



・USB 接続中は、画面に左のイラストを表示します。
・USB 接続中は、本体の操作はできません。

## 再生モード

再生モードでは、録画ファイルを本体で再生、静止画ファイルを表示することができます。

※再生モードの表示方法は ☛ P.46 を参照ください。




＜ファイル選択画面＞




＜再生画面＞

| No. | 表示名 | 説　明 |
|---|---|---|
| ① | SD カードエラー | SD カードのエラーや未挿入時に表示します。<br>※このアイコンを表示中は画面が真っ暗になり、カードエラーと表示します。(☛ P.50「エラー表示一覧」) |
| ② | 再生アイコン | 再生モードのアイコンを表示します。 |
| ③ | ファイルアイコン | 保護しているファイルに アイコンを表示します。<br>G センサー記録されたファイルに アイコン、ワンタッチ記録されたファイルに アイコンを表示します。 |
| ④ | 記録映像 | 選択した録画ファイルを再生、静止画ファイルを表示します。 |
| ⑤ | ファイル名 | 表示しているファイルのファイル名を表示します。 |
| ⑥ | 記録時間 | ファイルの記録時間(白)を表示します。 |
| ⑦ | 再生時間 | 再生時間(赤)を表示します。 |

### ■ 再生モード時のボタンの機能

| ボタン | 動　作 | 機　能 |
|---|---|---|
| MODE | 動作モードを変更します。 | |
| MENU /MUTE | 再生モードの再生メニューへ(☛ P.49)<br>もう一度押すと、共通の設定メニューへ(☛ P.37) | |
| ▲ | ファイル選択時 | 前のファイルを表示 |
| | ファイル再生時 | |
| ▼ | ファイル選択時 | 次のファイルを表示 |
| | ファイル再生時 | |
| OK | ファイル選択時 | 選択を決定する |
| | ファイル再生時 | 再生 / 一時停止 |

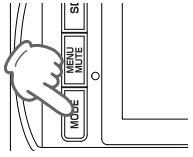
# 再生モードの表示・再生方法

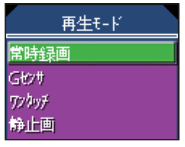
## 1. 再生モードを表示する

**1-1** 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※録画中は、再生モードの表示ができません。

**1-2** MODE ボタンを押す



＜再生モード＞

再生モードを表示します。

※MODE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「静止画記録モード」→「再生モード」にモード変更します。

## 2. 本機で録画ファイルを再生する

**2-1** ▲▼ ボタンを押して、再生・表示したいファイルの記録方法を選択し、OKボタンを押す



＜再生モード＞

ファイル選択画面を表示します。

**2-2** ▲▼ ボタンを押して、再生したいファイルを選択し、OKボタンを押す

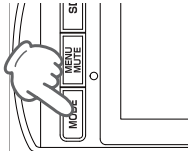


＜ファイル選択画面＞



＜再生画面＞

・ひとつ前の画面に戻るには…
ファイル選択画面や再生画面時に MODE ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。




※ファイルがない場合、画面上に「画像がありません」と表示します。
MODE ボタンを押すと再生モード画面へ戻ります。




## 3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

**3-1** OK ボタンを押す



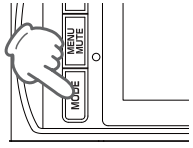

録画ファイルが一時停止します。

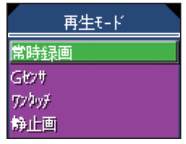
・操作メニューの詳細は…
☛ P.45「再生モード時のボタンの機能」


再生する

## 4. 再生メニューを表示する

### 4-1 MODE ボタンを押す



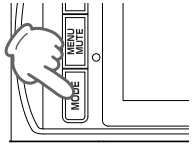
＜再生モード＞

再生モードを表示します。

※MODE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「静止画記録モード」→「再生モード」にモード変更します。

## 5. 録画を再開する

### 5-1 MODE ボタンを押す






＜動画記録モード＞

動画記録モードを表示します。

### 5-2 OK ボタンを押す




録画中アイコンが点滅し、録画を開始します。

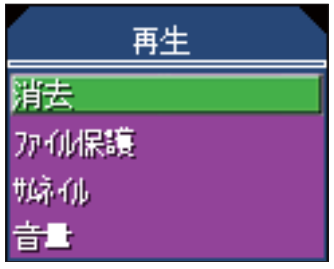




## 再生メニュー

再生モードの設定を確認または変更します。

※再生メニューの表示方法は ☛ P.48 を参照ください。






選択時



非選択時



〈サムネイル表示〉

★は初期値です。

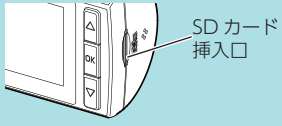
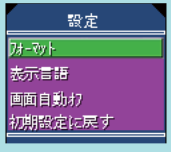
| 項　目 | 設　定 | 説　明 |
|---|---|---|
| 消去 | キャンセル | 現在表示しているファイルを削除します。 |
| | 実行 | |
| ファイル保護 | 保護 | 現在表示しているファイルを保護または保護解除します。( ☛ P.40) |
| | 保護解除 | |
| サムネイル | キャンセル | ファイルを９分割画面にサムネイル表示し、ファイルを選択できます。 |
| | 実行 | |
| 音量 | 0 ～ 6 (5 ★) | ファイルの再生音量を設定します。 |

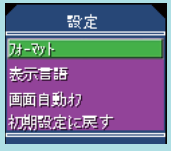
### ■ 再生メニュー時のボタンの機能

| ボタン | 機　能 |
|---|---|
| ▲ | 項目や設定値を選択します。 |
| ▼ | 項目や設定値を選択します。 |
| OK | 項目や設定値を決定します。 |
| MENU/MUTE | 共通の設定メニューまたは、ファイル選択画面へ戻ります。 |

## エラー表示一覧

※エラーメッセージが頻繁に表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

| エラーメッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| 赤色で「カードエラー」と表示が出る<br> | □ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。<br>・記録媒体：microSDHC カード<br>・容量：8 ～ 32GB<br>・SD スピードクラス：Class 6 以上<br>□ SDカードが正しく挿入されていますか。<br><br>□ 本機でSDカードをフォーマットしてください。<br>フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。<br>必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛P.11、38)<br> |
| 赤色で「画像がいっぱいです」と表示が出る<br> | □ 上書きモードが「上書き禁止」になっていませんか。<br>上書きモードを「上書き禁止」に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。<br>上書きモードの設定は、「録画設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(☛P.33「録画設定メニュー」)<br>□ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。<br>保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(☛P.40)か、本機でSDカードをフォーマットする(☛P.11、38)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。<br><br><ファイル選択画面><br>保護したファイルには、再生モード(☛P.45)のファイル選択画面上で 🔒 アイコンを表示します。 |

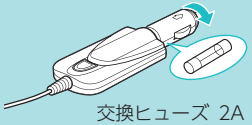
| エラーメッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| 「消去できません」と表示が出る<br> | □ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。<br>本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。<br>(☛P.42「録画ファイルの読み出しについて」)<br>□ 本機でSDカードをフォーマットしてください。<br>フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。<br>必要に応じて録画ファイルをパソコンにバックアップなどしてから、本機でフォーマットしてください。(☛P.11、38)<br> |

## 故障かな？と思ったら

### 電源が入らない

□ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。

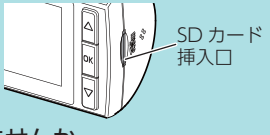
シガープラグの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



交換ヒューズ 2A
(20mm×5.2mm)

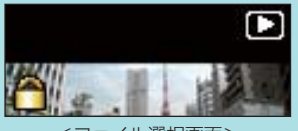
### 映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。



□ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(☛P.40)か、SDカードをフォーマットする(☛P.11、38)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。



<ファイル選択画面>

保護したファイルには、再生モード(☛P.45)のファイル選択画面上で 🔒 アイコンを表示します。

□ 動画記録モードで録画状態になっていますか。

動画記録中は ● (録画中)アイコンが点滅表示します。



## モニター画面に斑点や輝点がある

□ 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

## 電源を入れてから録画開始まで時間がかかる

□ ファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
録画ファイルをパソコンに移動するか、削除してください。(☛P.42「録画ファイルの読み出しについて」)

## 静止画記録モードから再生モードへの切り替えに時間がかかる

□ ファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
録画ファイルをパソコンに移動するか、削除してください。(☛P.42「録画ファイルの読み出しについて」)

## 本機で再生中に音声が聞こえない

□ 音量が「0」になっていませんか。
音量が「0」の場合、再生音または、ブザー音は鳴りません。
再生メニューで音量の設定を確認してください。(☛P.49「再生メニュー」)

## イベント記録ファイルが生成されない

□ 常時録画中にMODEボタンを押してください。
本機は常時録画中にMODEボタンを押すことで、
ワンタッチ記録を行います。
(☛P.19「イベント記録(ワンタッチ記録)」)

ワンタッチ記録中は画面左上に アイコンを表示します。




□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛P.19「常時録画」)

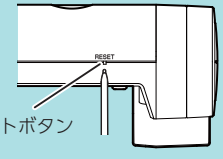
■ リセットボタンについて

画面が固まって動かない

ボタンを押しても反応しない

こんなときは

リセットボタンを押して再起動してください。




動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体上部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※リセットボタンを押しても SD カードに記録したデータは消えません。



# 仕様

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 本体：DC5V(DC12V マイナスアース車専用) |
| 消費電力 | 5W |
| カメラ素子 | 100 万画素カラー CMOS |
| 視野角※1 | レンズ画角：対角 135°<br>最大記録画角：対角 118°(100°(水平)、53°(垂直)) |
| モニター | 1.41 インチ　フルカラー TFT 液晶 |
| 記録解像度 | 動画：100 万画素　　静止画：300 万画素 |
| 画像サイズ | 動画　：720P(1280 × 720) / VGA(640 × 480)<br>静止画：3M(2240 × 1344) / 2M(1872 × 1056) / 1.3M(1536 × 864) / VGA(640 × 480) |
| 録画ファイル構成 | 1 分 /3 分 /5 分 /10 分 |
| 記録媒体 | microSD カード(8GB 付属) |
| 記録形式 | 動画：AVI(MJPEG)　　静止画：JPEG |
| フレームレート | 30 コマ / 秒 |
| 動作温度範囲 | 0℃～+ 50℃ |
| 外形寸法 | 85(W) × 40(直径)mm(突起部除く)<br>※取付ブラケット(テープ貼付)装着時 54(H)mm(窓ガラス 25°想定の場合) |
| 重量 | 約 62g(microSD カード含む) |

※1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は弊社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

## microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

**⚠注 意**

容量が大きい microSD カードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。

| | |
|---|---|
| 記録媒体 | microSDHC カード |
| 容量 | 8 ～ 32GB |
| SD スピードクラス | Class 6 以上 |

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

### 1. 録画時間の目安

| microSD カード容量 | 720P | VGA |
|---|---|---|
| 32GB | 約 240 分 | 約 480 分 |
| 16GB | 約 120 分 | 約 240 分 |
| 8GB(付属品) | 約 60 分 | 約 120 分 |

・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
・録画時間は、常時録画とイベント記録（G センサー記録とワンタッチ記録）の全ての録画時間の合計です。

### 2. イベント記録の最大記録時間の目安

| microSD カード容量 | 720P | VGA |
|---|---|---|
| 32GB | 約 96 分 | 約 192 分 |
| 16GB | 約 48 分 | 約 96 分 |
| 8GB(付属品) | 約 24 分 | 約 48 分 |

・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
・録画ファイル構成（☛ P.33）の設定により、ファイル数は変化します。

・お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度（☛ P.33）により録画可能時間は変化します。





## アフターサービス

**●保証書（裏表紙参照）**
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

**●保証期間**
お買い上げの日から1年間です。

**●対象部分機器**
本体（消耗部品は除く）

**●修理をご依頼されるとき**
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

**○保証期間中のとき**
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

**○保証期間が過ぎているとき**
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

## お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

●下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
●紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ　フリーコール　0120-998-036